

月報 2023年 9月30日 No.392

石城山岳会

9月号

# 四方通信



石城山岳会事務局編集

9月教室山行「西吾妻周遊」

9月月例山行「安達太良溪谷 烏川左股沢登り」

# 9月教室山行「西吾妻周遊」

2023/9/17(日)～18(月)

1班：種市、猪狩、伊藤(晴)、松崎、秋葉 2班：佐藤(春)、青天目、西村(淳)、渡邊

3班：赤塚(将)、佐藤(秀) 岩崎、西村(里) 教室生5名、会員8名、計13名

チーム編成表順 敬称略

## <1日目>晴れ時々曇り

一同天元台ロープウェイにて湯元駅からリフト3基を乗り継ぎ北望台へ移動。10:10北望台リフト終点から山行を開始し、途中で昼食休憩を取りながら人形石-藤十郎分岐-弥兵衛平分岐-東大巔と進んだ。東大巔の山頂を示す杭には真新しい熊と思われる齧り跡が残されていた。「熊に出くわしませんように」と願いながら東大巔から折り返し、弥兵衛平分岐からは来た道ではなく北に進み、本日の宿泊先の避難小屋の明月荘着が14:20となった。小屋には先客が数名と他に数名分の荷物が置かれていた。そこから水場を散策し15:30小屋に戻った。

小屋の収容人数は30名とされているが、当日の宿泊者数は最終的に(数えたわけではないため正確ではないが)35名程度ではなかったろうか。2階建ての建物で2基の木製の頑丈な梯子で上がるようになっている。水は15~20分程度離れた水場まで行く必要があるが、トイレは小屋内に設置されているのがありがたい。かなりしっかりとした建物だが無料で利用でき、山形県(?)に感謝するばかりだ。

小屋に戻ってから各自寝床を確保した後は、班毎に分かれて鍋タイムスタートとなった。1班：焼肉付き塩焼きそばとカレースープ。2班：焼肉と野菜スープ。3班：竹輪ときゅうりのおつまみとスープパグッティ。各班供鍋奉行様の手際良い裁きにより美味しく楽しい鍋タイムで1日目を閉じることができた。

## <2日目>曇り後晴れ

朝起きて準備を整え、外に出てみると夜中に降った雨の影響で木道が濡れていた。転倒せぬよう十分に気を付けなければならないと思いながら4:55に山行を開始し、途中で朝食休憩を取りながら弥兵衛平分岐-藤十郎分岐-人形石と進んだ。十分に警戒しながら進んだにもかかわらず、ここまでのどり着くまでに少なくはないメン

バーが濡れた木道に足を取られて転倒した。私は2度転倒し、2度目の転倒でリーコンハイドラパックとベッドライトを飛ばして紛失したことは内緒にしておこう。人形石からは私を含め2名が離脱し、昨日のルートに戻った。

11名は予定通り人形石-大凹水場-梵天岩-天狗岩-西吾妻山-西吾妻小屋-北望台リフト終点-天元台高原駅と進み12:15に山行を終え、ロープウェイにて湯元駅に戻った。一同、期待していたが、生憎の天気により眺望を楽しむことはできなかった。



西吾妻山山頂



木道から

避難小屋での宿泊とその避難小屋での鍋料理といった貴重な体験をさせていただき、そして何よりも無事に下山させていただきました。今回もありがとうございました。

(文責 西村 淳)

### 《コースタイム》

#### 1日目

10:10 北望台登山口→11:10 人形石→12:30 藤十郎→13:22 弥兵衛平→13:41~13:49 東大巖  
→14:00~14:05 弥兵衛平→14:28 明月荘 (泊)

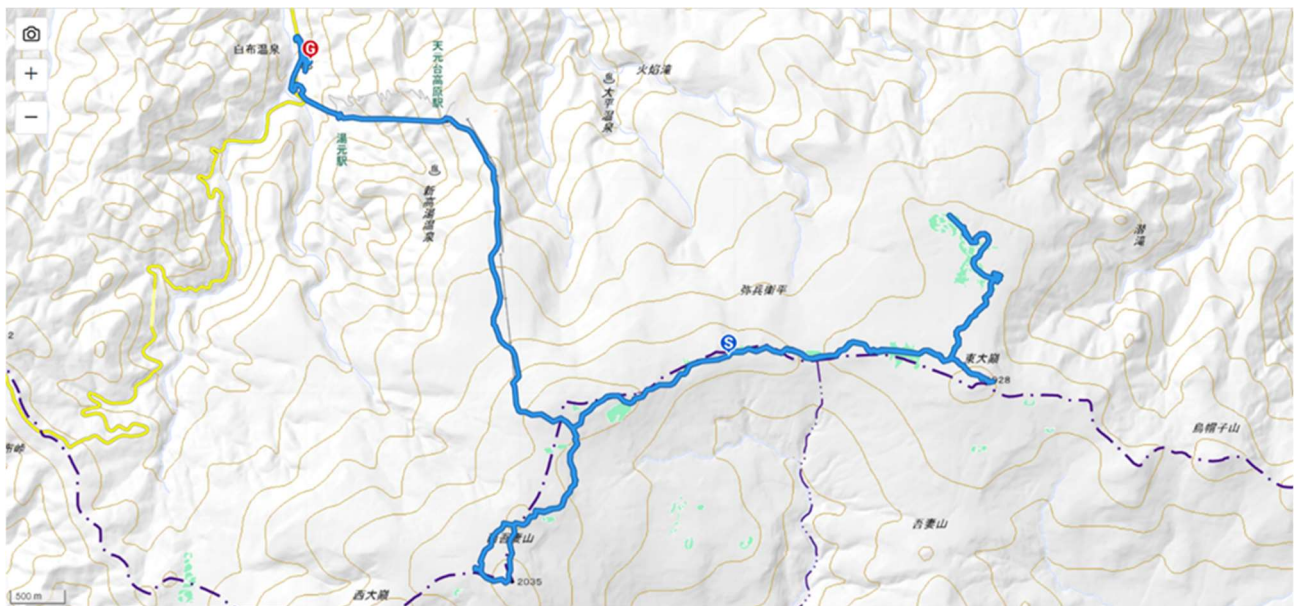
#### 2日目

##### 完走組

4:55 明月荘→5:26 弥兵衛平→6:15~6:40 藤十郎→7:35 人形石→8:24 大凹の水場→8:55 梵天  
岩→9:00 天狗岩分岐→9:20 西吾妻山山頂→9:31 西吾妻小屋→9:46 天狗岩→10:53 かもしか展望  
台→11:12 北望台登山口→12:15 天元台高原駅

##### 離脱組

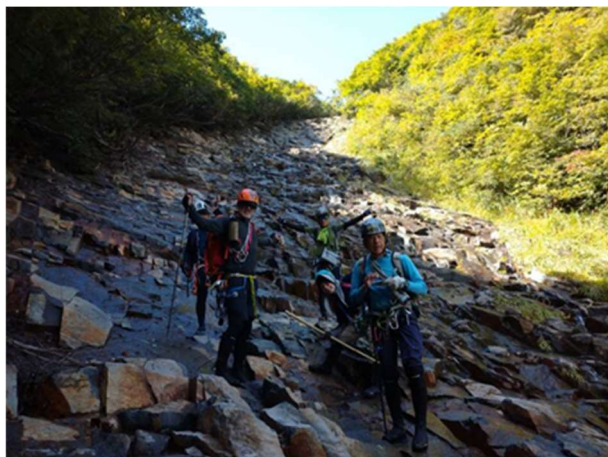
4:55 明月荘→5:26 弥兵衛平→6:15~6:40 藤十郎→7:37 人形石→9:22 北望台登山口



# 9 月 月 例 山 行 「 安 達 太 良 溪 谷 烏 川 左 股 沢 登 り 」

2023 年 9 月 24 日 (日)

秋葉、安部、栗崎、佐藤(春)、根本、種市



奥岳登山口から烏川を遡上して安達太良山山頂をめざす。ロープを出すような場面は無く、のんびり晩夏の景色を味わいながら心地よく登る。「沢登りっていいな！」という声も聞こえてくる。天候は晴天、暑くも無く寒くも無い。水は少し冷たい程度、思ったより水量も少ない。途中カモシカらしき獣の死骸に出くわす。異臭がして、少し気持ち悪くなっが自然の営みを感じた。

標高 1210m に分岐点がある。今回は右股をスルーして左股に進む。少し進むと長さ 40m、幅 5m から

15m 程度の滝がみえた。本日のメインイベントの傾斜が緩やかで長い滝、水が流れていない。滝斜面は重ね石で登りやすい。そこで、秋葉さん、栗崎さんによるフィックスロープ講習をして頂き、安部、種市、佐藤(春)は指導を受けることができた。たいへん、ありがとうございます！

頂上手前は苔が生えており滑りやすいので注意して登った。枝沢に入ってから、次第に前かがみで進むと藪沢となり 1410m ぐらいに斜面崩落箇所が現れる。その地点が最も登山道に近い場所。崩落斜面を登り藪漕ぎするため、靴を登山靴に履き替えて、チェーンスパイク装着した。チェーンスパイクの効果あったと感じるのは、根曲竹を踏みつけて進む時。登山道まで標高差約 70m、距離約 130m、時間にして正味 30 分の格闘、体力も奪われ 1 時間ぐらいに感じた。1510m 標高の登山道に到着。たまたま下山している人が通りすがり笹からでてきた私を熊だと思ったらしい。ビックリしたとおっしゃってました。時間の都合で山頂登頂を断念して、1 時間かけて下山した。すぐに奥岳の湯入り、露天風呂から稜線を観て、疲れを癒やした。

[タイム]

奥岳登山口(0742)→左沢股(0916)→ツメ[1434m](1212)→登山道(1240)→薬師岳(1408)→奥岳登山口(1522)

